

◆平成27年度学生募集・入学選考

オープンキャンパスのご案内

企画広報室 藤田 真衣

暑さも遠のき、紅葉の話題を耳にする季節になってきました。卒業年度生の皆さんは特に、就活や卒業研究に取り組んでいる大切な時期だと思います。これまで以上に体調管理はしっかりしてくださいね。風邪やインフルエンザの予防に、うがい・手洗いはしっかりしましょう！また、今の時期の旬の食べ物は、体を温める効果のある食べ物がいっぱいです。食事で体を温めてちょっとしたところから、風邪予防していきましょう。

さて、本学では10月1日より出願受付が開始となりました！皆さんも1～3年前、それぞれの思いで受験に挑んだことと思います。「あれからまだ1年かぁ。」と感じる人もいれば、「もう2年もたったんだ！あつという間！」と感じる人もいるでしょう。中には後輩や友人が受験をするにあたり、励まし、応援してくれた人もいます。合格通知をもらった時の喜びを、後輩の皆さんにも知ってもらいたいですよね。

第1回入学選考は既に行われ、続々と入学者が決まっています。さらに、皆さんの後輩が増え、中村学園が今以上に盛り上がるよう、11月から、第2回目以降の入学選考やオープンキャンパスの開催を予定しています。高校の後輩や身内等で電子情報や福祉医療を希望している人がいたら、ぜひ、本学のオープンキャンパスへの参加、説明会への参加を勧めてみてください。

「1度うちの学校へおいでよ！」「説明会で相談してみたら？」と皆さんが声を掛けてあげることで、後輩の皆さんが明るい将来へ向かって、第一歩を踏み出すきっかけになるかもしれません！

皆で中村学園を更に盛り上げていきましょう！！

☆入学選考日程

第2回 11月15日(土) } 特待生・自己推薦・一般
第3回 12月20日(土) } 社会人・留学生 選考

☆オープンキャンパス、学校・入学選考説明会

11月 1日(土) 13:00～15:00
11月 5日(水)・13日(木) 17:00～18:30
12月10日(水)・18日(木) 17:00～18:30
7日(日) 10:00～12:00

※保護者説明会も同時開催※



の行事

- 1日(土) オープンキャンパス 13:00～15:00
2 TW・CW第4期実習 ～11/22(土)
2 CP保育実習3(施設) 2グループ ～11/1(土)
第一ひかり幼稚園バザー
*託児所：有
- 3日(月) 文化の日
- 5日(水) オープンキャンパス 17:00-18:30
- 6日(木) 常葉系統別講座 13:10～15:00
- 9日(日) 医療秘書検定
- 10日(月) 1年電子情報 職場体験(3) ～11/14(金)
体育集中①
- 12日(水) 1 MIS メディックファーストエイド①
- 13日(木) オープンキャンパス 17:00-18:30
- 14日(金) 1 MIS メディックファーストエイド②
- 15日(土) 第2回入学選考
*託児所：有
- 17日(月) 電子情報 海外研修修学旅行 ～11/22(土)
- 19日(水) 3CP メディックファーストエイド(前)
2CP 保育実習Ⅱ(保育所)事前研修①
- 20日(木) J検 CBT
- 21日(金) 3CP メディックファーストエイド(後)
- 23日(日) 勤労感謝の日
- 24日(月) 振替休日
- 26日(水) 2CP 保育実習Ⅱ(保育所)事前研修②
- 29日(土) *託児所：有



◆就活中のその「不安」、

それは「就職」に対する強い欲望があるから

進路室 橋野 幸男

前月号の最後に、「就活を通じて成長する」と書きました。私はかって7度、卒業年次の担任を務めています(2年制学科1+4年制6)。「24社 不合格」の後に「2社 内定」を獲得した学生もいたクラスで、武者小路実篤の詩『生長』を紹介したことがあります。

「どうしても とどかなかつた枝に / ふと手を上げて見たら / 楽にとどくやうになった。」[原文のまま]

不合格という「負け試合」を反省した後、失敗の記憶は心の奥深いところに追いやり、一方で、改善への課題を前に投げ、そして、追いかける。ひたすら前進することで、新たな展開をつかんでいく。上の詩のように、不器用でできなかったことが(例えば、面接の最初の「自己紹介」)、いつの間にか自然とこなせるようになっていく。そんな学生を数多く見てきました。不成功体験が成功体験に変わったとき、精神はより一段と強くなり、人は大きく成長しているものです。

さて、就職活動中に抱く「不安」に関して、次の言葉を紹介します。神田東クリニック院長・高野知樹氏が『「不安」の解消。深く潜む『欲望』満たす』と題して、『日本経済新聞』H.26.10.18・(夕)「ヘルス この一手」に執筆したものです。

「… 不快な感覚をとまなう「不安」は、一見悪者に見える。だが、その裏に実は生き生きとした「欲望」が隠れている。欲望があるからゆえ、それを満たせるのかと不安が顔を出す。… 無欲であれば、おそらく不安は感じないはず。小さくても不安を感じるのなら、何か欲が存在している。…」

「不安」に対する対処方法は、大きく2つに分かれる。その場から逃げる「回避」と、もうひとつの「突入」だ。…

一方の「突入」は、不安の裏にある「欲望」を見だし、満たすべく行動すること。…

不快感の解消にとらわれ過ぎてはだめ。まずはその感覚をそのまま受容する。そして潜む「欲望」を満たした結果、不安が消え、達成感にもつながる。



見境なく「突入」すればいいということではない。回避が必要な時もある。一番大切なのは不安の裏に隠れている「欲望」を見いだすこと。それを満足させるために何をしたらいいかを考えることだ。

『チャレンジして失敗することを恐れるよりも、何もしないことを恐れる』。故 本田宗一郎氏がのこした言葉である。「欲望」がある限り、不安は消えない。不安を消したいなら「何かせよ」といっているようにも思える名言だ。」

活動中の皆さんが「不安」を抱くのも、心の奥に「就職したい」という強い欲望があるからです。その欲望を「必ず就職する」という強い意志として大切にし、また、周囲の人たちとのコミュニケーションも活用して、不安とうまく付き合っていきましょう。そして、これまでの学生生活に誇りを持って、前進していきましょう。

◆平成26年度(第40回)

静岡県専修学校バレーボール大会 準優勝!!

女子バレーボール部 監督 寺田 剛敏

長く大会会場となっていた草薙体育館で行われる最後の大会となった今年、女子バレーボール部は頂点を目指した1年間の成果を試すため試合に臨みました。

昨年の大会を終え、主力となった卒業生が抜けた部分をカバーすべくこの1年間練習に励んできました。実習や研修で練習日程の調整がつかず、チーム編成も厳しい中、先輩方や他部活動の諸君による支えもあって、少人数ながらもなんとかチームを上げることができました。

実戦練習もほとんどできない中で、予選リーグを1セットも落とさずたどり着いた決勝戦です。対戦相手はここ数年苦杯をなめている静岡医療科学専門学校。部員は雪辱をはたすべく一丸となって獅子奮迅の動きを見せ、このチームとしては最高の戦いぶりを発揮しました。一時はリードも奪いましたが、遂に力尽きて頂点に立つことはできませんでした。

選手諸君は、目標を定めて一つにまとまったときに発揮できる大きな力があることを実感できたと思います。卒業年次の学生は実社会で活かして、自己の成長を目指してください。

様々なご支援を下さった理事長・校長先生をはじめとする諸先生方、練習をサポートしてくれた学友諸君、本当にありがとうございました。

女子バレー部 コーチ 原 佐音美

女子バレー部の皆さん大会お疲れ様でした。

準優勝おめでとうございます。

昨年の大会終了後、銀メダルはもらえない!と言っていた現2年生、今回の大会で昨年の悔しさを晴らすことはできましたか?実習で大会に出られないメンバー、練習に参加できないメンバーもいて、昨年以上に実践練習ができませんでした。試合中のラリーを取ることができなかったのは、練習不足、気持ちの弱さかもしれませんが、試合を重ねるごとにチームのまとまりを感じ、いつも以上の実力を出すメンバーも多くこのチーム力はこれからの人生に役立たせることができると思います。来年はもう一つ上のメダルが取れるよう頑張りましょう。

最後になりましたが、校長先生をはじめ諸先生方、応援してくださいました学生の皆さんありがとうございました。



女子バレーボール部 主将(子ども心理学科3年) 伊藤 実希

今年女子バレーボール部は、昨年に引き続き、優勝杯奪還を目標に練習を行ってきました。

実習と重なり、参加人数が足りず、部員以外から参加者を探し、ギリギリのところまで試合に臨むことができました。練習も思うように行うことができませんでした。優勝のため個々で練習してきました。

大会当日、優勝はもちろんでしたが、一人ひとりが楽しんでプレーすることを目標として挑みました。最初は自分たちのペースを作ることに必死でしたが、予選トーナメント、決勝トーナメントと試合を重ねるごとに勝利の喜びを感じ、仲間のことを考えてプレーすることができたと思いました。

結果は準優勝となり、昨年の悔しさを晴らすまでには至りませんでした。後悔なく終わることができたと思います。後輩諸君には、優勝を目指して頑張ってもらいたいと思います。校長先生、諸先生方、学友の皆さん、応援ありがとうございました。今後ともバレーボール部の応援をよろしくお願いいたします。

平成26年度(第40回) 静岡県専修学校バレーボール大会試合結果



・予選	対 静岡デザイン専門学校	2-0 セットで勝利
	// 対 専門学校 静岡パティシエカレッジ	2-0 セットで勝利
・準決勝	対 中央調理製菓専門学校	2-0 セットで勝利
・決勝	対 静岡医療科学専門学校	0-2 セットで惜敗

◆新任教職員の紹介

企画広報室 鳥畑 英子

8月19日から、皆様には大変お世話になっています。半世紀近く生きてきたのに、専門馬鹿で世間の常識から隔離された世界におりまして、皆様には、ご迷惑ばかりおかけしています。自分でもどうかしていると思ったのですが、宇宙がどうやって出てきたのかがどうしても知りたくて突っ走ってしまい、物理の学生の中でも最も敬遠される「素粒子理論」を専攻しました。「宇宙を知りたいのに、どうしてマイクロサイズの原子の中にある素粒子を勉強したかって?」それは、宇宙が生まれたときはマイクロサイズだったからです。大学院卒業後、大学や高専で物理を教えていましたが、そのほかにも、イラストや漫画を趣味で描いていて、専門書に難解な物理の言葉をイラストにする仕事なんかもしていました。11月中には、私が描いた漫画、『証明の探究』漫画編(原作 大阪大学教授 日比孝之)が出版されます。女子高生が数学の証明問題で彼氏をつくっちゃやうなんともびっくりなストーリーです(わかんないですよ(笑))。

本学では企画広報教職員として、学校のさらなる発展に貢献できる仕事をさせていただきます。理事長・校長先生をはじめ、諸先生方のご指導のもと、精一杯努力して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

